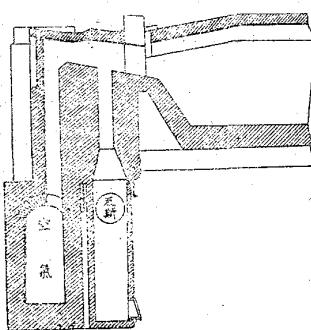
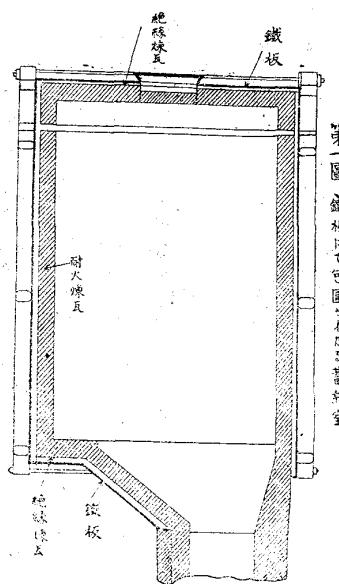


様である。

- 一、良好なる鋼を得る事
- 二、燃料を經濟的に使用し得
- 三、生産量の増加



四、爐の生命の延長

五、屑鐵を多量に使用し得

六、一定能力に對し設備費の減少等。

瓦斯蓄熱室を除去し

發生爐瓦斯使用の際の利益は次の様である。

一、一層燃

的に使用し得

二、建設費を大に減じ得

三、一層構造が簡単となる

大なる發明には其の發明の大なる利益が得らるゝ前に其の關係者の勉強と注意深き協力とが必要である、従つて吹焰式

爐に於ても其最好結果を揚げるには技術者及操業者の誠心的協力が必要である、然し原理の正確なる事が一般に認められ、其の結果が既に得られたる以上は速に施行する事が必要である。

露國に於ける現在の經濟事情

(Stahl und Eisen. 22. Juni 1922)

松魚生

露國は露獨間に締結せるラ・パ・ロ條約に依りて各方面に亘り大なる利益を受くるに至れるものなり、今最初に露國工業の復活並に之と密接なる關係を有する各種の問題に就きて次に記述するところあらんとす。

一九二一年七月に於ては露國製鐵業は一九一七年革命の勃發せる以來の不況に陥り彼の著名なるドネツ地方の如きも其の生産に係る石炭は僅少にして僅に炭坑の自發的要求を充すに止り鐵道作業又は工業界に其の供給を行ふ事不可能なりき。斯の如き事業不振の真因と認むべきは一九二一年の夏期に際し同地方の食料品供給者皆無たるに至れるに因るものにして、當時同地方に於ては在庫品全く消費せられ、新しき收穫としては偶々生地を脅したる早魃の爲め其の希望空しくなり、茲に炭坑全部は破滅に瀕するに至れるが政府は急遽之が救濟の道を講ずるに至れり、即ちポルタワ及びキウ、特に相當收穫を得たるポーランドのチュルニゴー領よりは全貨車に穀類並に馬鈴薯を滿載して同地方に輸送せしめたるが、同時に

從來の労働者に對する支拂の形式を變更して勞銀の定額を示し且つ最低勞銀を確定せり、但し從來に於てはモスコーに於て規定せる貨率に従つて勞銀の支拂を行へるものにして、その購買力の如きは戰前の勞銀に比する時は僅にその一乃至二%に過ぎざりしなり。

右の如き改革の結果次表の如くドネツ地方の石炭の產額は漸次其量を増すに至れるものなるが、統計は政府發行の勞農新聞に記載せられたるものにして左の如きものとす。(單位噸)

七月	一四九、〇〇〇	八月	一八五、〇〇〇
九月	二九六、〇〇〇	十月	五七三、〇〇〇
十一月	八一九、〇〇〇	十二月	九〇〇、〇〇〇

前に獨逸が同地を占領せる以來一九二一年初期に至る迄の一ヶ月平均產額は四一〇、〇〇〇噸前後にして戰前に於ては月平均二、〇〇〇、〇〇〇乃至二、五〇〇、〇〇〇噸に上りたるものなるを以て、新經濟政策を行へる勞農政府が右の如き成績を收めたること正に疑の餘地なしと雖も同政府が他國の感興を惹かんが爲め、幾分誇張せるところなきにしもあらず、但し石炭の生産著しく、増進せられたるは次の利益に依るもの明かなり、即ち數年以來石炭又は骸炭の缺乏に禍せられて閉業せる工場は燃料到着の結果其一部なりと雖も再び作業を開始するに至れりと云ふ、次に石炭の生産額に關しては其筋の報する處によると本年一月に於ては再び減少して七三五、〇〇〇噸に達せりと云ふ、然れども同地方附近の諸礦は既に食料の輸送供給を止むるに至れるを以て此際米國が其の穀物を供給する事なくば、同地の石炭は其の生産を全く休止するに至りしならん、即ち米國の供給に係る穀物は其量豊かならずと雖も然も炭坑夫の露命を繋ぐに足るものなりき、以上記述せ

る處に依りて工業の復活は先づ農業の復活に俟たざるべからざる事明かにして吾人は先づ農業の復興問題を解可せざる可からず。

戰爭の終結以來露國の農業は茲に一變し同國民は從來の如くにして生活すること今や不可能となれるが勞働階級に於て特に然りとなす、然して之が原因としては戰爭の一般的結果に加ふるに勞農政府の採れる農業政策と共に露國に於ける内亂を擧げざる可からず、大いなる土地分配の結果は多くの場合土地のみならず、家財家蓄に至る迄之を壊滅し土地の大部は開墾せらるるに至らずして拋擲せられたるものなり。

又露國々内に内亂の勃發するや各軍の徵發は久しきに亘りて行はれ家畜殊に馬匹の如きは之が爲め著しく其の數を減ずるに至れり、即ち馬は農夫の鋤より解放せられて拉致せられ、又は全く其の用を爲さざるが如き廢馬を以て之を易ふるに至り農民は斯の如き徵發を畏るるに甚しく遂に飼料を極端に減少して馬匹の廢軀觀るに忍びざるが如くにせしめて以て徵發を免れんとするに至れり。

一九一七年より一九二〇年に至る四年間に於ては一九一九年を除きその收穫平均額に及ばざる事遠かりき、一九一九年に於ては東方に於て對コルチャツク又南方に於ては對デニキンの大戰勃發せる爲め比較的良好なりし收穫も之に禍せられて遂に完全なる成績を收むるに至らざりき、然るにデニキンは彈薬と同様に重要な多量の穀類を黒海の港灣より首尾よく同盟軍に輸送することを得たるは異とすべきものなり。

一九一七年より一九二〇年に及べる勞農政府の農業政策なるものは農民各自の必以外に屬する所謂剩餘穀物は之を一

定の價格を以て政府に押收せんとするものにして、而も各自私に賣買するを禁じたるものとす、而して其の規定價格なるものは貨幣價值と全然沒交渉にして、一例を示さんに小麥一磅（一六・三磅）の指定價格は三六ルーブルなるに、時にマツチ一箱一、〇〇〇ルーブルを價する事あり、換言すれば農民は其の收穫の剩餘マツチ一箱又は二箱と交換せざる可からざりしを以て此が爲その耕作地は永久的壞滅を招來するに至れり。

於是勞農政府は一九二一年春之が復舊を企て農民の收穫は其の若干%のみを現物稅として徵收し其他は自由に販賣するを許可するに至れり斯の如き政策は正に一段の進歩を示すものにして爲に耕作は再び增收を見るに至りたるならんに既に其の時機を失ひたる爲に露國の大部に於て其の實現を見るに至らざりしは遺憾なり。

一九二一年夏期に於ける旱魃は露國の袤大なる一領域をして其の收穫を皆無ならしむるに至れり、即ちウオルガ河に沿ひ幅凡一、〇〇〇基米を以て南北に亘るものなるが、同河は北方ザヤヅカに起り、オーレンブルグを経て南方に走るものにして、全長凡二、〇〇〇基米に達するものとす、第二の旱魃區域に屬するものは同地方より西方へ裏海並に黒海々岸に沿ひクリミヤ地方を経てオデッサ市に至るのにして北方に向つてはチャルコー及ボルタワの兩市に及ぶものとす。

此等諸地方に於ける饑餓は其の獰猛なること恐くは未だ歐洲の歴史に其の例を見ざる程の慘事に屬し新聞紙によりて報導せらるるが如く同地方に關する恐怖すべき記事は決して誇張せられたるものに非ずと、吾人は其の實狀を具に説明する

と能はざるを遺憾とするものなり、同地方に於ては藁一筋枯草一本と雖も之を得ること不可能なるを以て家畜の如き極度に疲弊せるは寧ろ當然なり、於是住民は各自其の空腹を愈さん爲めなるは勿論なりと雖も實に右の理由に基き彼等の家畜を屠殺せざるを得ざるに至れり。

秋季に於ける種蒔の如きは唯一小部分に限られたるものにして春期の耕作の如き亦米國の援助ありしに拘はらず、馬匹の缺如と土地の大に比して耕作に從事する者少なかりし爲め翌年度に對する徹底的救濟は之を行ふこと能はざりしが、從來收穫の成績良好なるに於ても尙國民の需用を充すに不充分なりき。

露國に於て工業的事業を創始し又は再興せんとするに、先づ考慮を要す可き緊急事項としては官吏又は労働者の食糧は如何にして補給せんとするかの重要な問題あり、而して之が對策として二方法あるものなるが、第一法としては政府は充分廣大にして連續せる地域を賃貸し且つ發動機附牽引車の如きを以て耕作せしむることなり、又第二法としては此の如き農具を獨逸移民又は露國豪農に交附し之が代價として收穫中の一部を以て適當に納附せしむるものなり。

獨逸移民は耕作に於ては尙露國農民に比し優秀の技倆を有するものにして穀物の品質に於ては殊に右の事實を認むるものなり、記者は既に久しきに亘りて穀物製粉所技師長として兩國民の生産せる穀物に就きて其の品質の優劣を識別する機會を得たるものなるが、獨逸移民中にあっても特に再洗禮者より成る移民は文化の程度一層進歩し、土地の耕作に機械を利用する爲め其の成績更に見る可きものありき、不幸にし

て此等の移民は大部分工業地の南方アレキサンドロウスク並にメルトボールの地方に居住せる爲め内亂及戰亂に際して其の災厄を免るること能はず、マツクノ將軍の爲め彼等の部落は悉く焼土と化し住民は其の毒手に倒れるに至れり。

露國は近世史に於ける未曾有の經濟的不況に陥れるものなるを以て、之が經濟的復活の可能性に關しては此際輕卒なる推定を行ふ可きものにあらず、然り而して各種の工業的企業の如きは如何にするも之が發展の策なきものの如し、即ち製品の販路なきを如何せん、又疲弊せる國民は市場を設けて商品を吸收すること不可能なり、前に三四月の交露國より接受せる報告は正に右の事實を裏書するものにして、工業中心地なるペテルズブルグ及びモスコーの如きは既に生産過剰に陥り不況に沈淪するの悲況にありと云ふ。

露國が其の新經濟政策によりて各種工業の生産を著しく向上せしめたるに拘はらず、急激なる不況を招來するに至れるは鐵道の輸送狀態不良にして製品の供給意の如くならざりしに因るものなり。石炭生産を以て有名なるドネツ地方に於ても尙右の如き事情の存するものあり、即ち同地方に於ける石炭の在庫品は二、〇〇〇、〇〇〇噸に上りたるが此等多量の石炭は之を輸送すること不可能なりしを以て、政府當局に於ては同地より南方僅一〇〇基米にあるアゾブ海岸のマリウポール港に送りたる後、茲より海外に輸出せんとするの計畫を定めたるが、之が賣上代金を以て海路英國炭をペテルズブルグ鐵道の輸送状態不良なるの一事を露國に於ける燃料の窮乏を緩和せんとせり。

先以て該問題の解決に着手せざる可からず、一九一八年の初め露國が世界戰爭より脱退せる時既に鐵道の輸送機關は大部分不能にせられたるものなるが、次で勃發せる内亂はモスク附近に於ける中央部諸領を除き、露國全土に波及せるもの如きは彼等の最も重要な武器たりしなり於是之が壊滅を企て凡て完備せる橋梁、水槽塔、機關車等は之を悉く破壊して極力其交通を阻害せり。斯の如くにして同國に於ては數千の橋梁、水槽塔、機關車等は其の用を爲さざるに至れるものなるが、橋梁に就きては僅に木材又は枕木を以て之を補修して以て運輸作業を全からしむるを得るに至れるものあり、然りと雖も稍設備大なる停車場に於ては必ず多數の全能力機關車の併列せるを認むる事を得べく而も此等の中若干は風雨に曝露せられたるため廢物となれるものなり、貨車客車の如きに於ても之と同様なりと雖も此等に於ては屢々其の骨格を残せるものあるを以て既に久しく板に代ゆるに他の材料を以てして使用せられたるものあるは前記機關車に比し聊か慰むるに足るものなりとなす。現在に於ては獨逸及び瑞典に於て製造せられたる機關車の若干は既に露國に輸入せらるゝに至れるが同國に於ける機關車製造工場は之が製造に從事するの暇なく専ら在來の機械の修繕に没頭せざるを得ざる有様なるを以て、此等機關車の輸入は同國に於ては一層重要な救援を爲すに至れるものなり、即ち露國をして將來機關車及列車の製造に從事する工場の作業開始を行はしめん爲には、一九一七年末以來全然不況に陥れる商工業を復活せしむること必要なりとす。

クリウォイログ鑛區及びニコボーレ満俺鑛區に於ける鑛山は全然休業状態に陥れるものなるが、休山數年に及べる間に於て更に廢山に歸せるもの亦若干あり、又南部及びウラル地方の鎔鑛爐は二三を除き一九一七年以來作業を休止せるものにして、十月十一月の交南部地方に於て石炭の生産増加せるに及び漸く鎔鑛爐二基は作業を開始するに至れり、其他平爐工場壓延工場に於ても同様の現象を呈するものとす、而して現在の生産額としては戰前に比するに僅に其の二三%に過ぎず、長期に亘りて作業を休止するに至れる諸工場の荒廢せる慘狀は専門家たる讀者諸君の推察に任すことせんも、茲に一言附言せんとするは之等諸工場に於ける物品にして苟くも使用に堪ふ可きものは悉く何者かの盜み去るところとなれる一事なり。

世界戦争の間に西部及び北部管區の工場は悉く移轉せしめられ、内亂時に際しては中部露國に於ても亦工場の移動を行へるものなるが、斯の如きは一層の困亂を惹起せしめたるに過ぎずして之が爲め機械は破損せられ完全に轉置せられたるものは僅に其の一部に過ぎずして他の大部分は全く使用に堪へざるに至れり。

露國に於ける國民經濟の復活に當りて其の唯一の希望を繋ぎ得べきものは石腦油の產出となす、裏海に突出せる彼の有名なるアブシェロン半島のバクーは其の生産地として主要なるものなるが、鐵路に沿ひ北の方ロストーへ凡そ五〇〇基米にあるグロスニイは之に次ぐる石腦油の生産地と爲す、勞農政府が近年南部地方の荒漠たる領域に於て尙能く鐵道の經營を持続するを得たる所以のものは正に之あるが爲に他ならざ

るなり。・・・
其他工業は亦専ら石腦油の供給に賴れるが如き觀あり、然して政府は此の如き最も重要な生産も從來一時放棄して全く顧みざりしが茲に再び採取に着手し專心其の產額をして戦前の夫に均しからしめんと努力するに至れるは明かなり。

石腦油の生産は現在に於て極めて尠くも戰前に於ける產額の半に達するの状態なりと雖も然も確實に漸次其の產出量を増加しつつあり、即ち左に其の實例を示すことせんに、

一月 二五二、〇〇〇噸

二月 二三六、〇〇〇噸

三月 二六四、〇〇〇噸

然して之等石腦油の多量は之を露本國に輸送せんとする時殆ど必然的に先づ水路裏海を經たる後ウオルガ河の本支流並に運河を溯航してペテルスブルグ市に到らしむるものとす、途中オルガ河畔に於ける大都市は何れも其の河畔にタンクを設備せるものなるが、特に裏海に臨めるペトロースク港の如きセメントを以て内被せる貯油渠並にタンクを備へ其の總容積は正に數百萬ブード(一ブードは我が四貫三百八十二匁強)を容るるに足るものとす、蓋し同河畔の都市は冬期オルガ河の水氷結するに際し各自貯油の一部を使用せんとするものなり、バクーより黒海沿岸のバヅームに至る長さ凡五〇〇基米に亘れる導油渠はポンプを使用して石腦油の運搬を便ならしむるものなるが、導渠の一部缺壊せるを以て近年之が利用不可能となれり、又グロスニイに於ては現在石腦油の生産毎月六七百萬ブードに達するものなるが、之が運搬に當りては先づ罐車に容れて鐵路ロストーを經ウクライナ市又は前記ペトロスクに輸送するものとすペトロスクは生産地グロスニ

ーを去る凡そ一五〇基米に在る港町なり。

バクー及びグロスニイ兩地産の石腦油は其の品値に於て可なり著しき差別を有す、即ち塗料又は汽笛用としてはバクー産に限らるるものとす、然るにグロスニイ産はパラフイン含有量稍多きの故を以て冬期氣温降下するに至り全く粘着性を呈し遂に硬化するを以て輸送困難なるの缺點あり、石腦油よりベンジン又は石油を蒸餾せんとする時夫の作業は専ら石腦油採取場に於て行はるるものにして此の場合粘着性を有する残渣即ちマーストを得るものなるが、之は汽罐又は平爐其他の殆ど全般に亘れる製鍊に使用せらるる爐に直接燃料として利用するに適するものなり、又普通の粗石腦油はディーゼル機關及石油發動機に使用して適切なるは明かなり、即ち内燃機關の成績良好なるものにありては之を燃料として使用するに使用期間一週間を超ゆるもの而も吸口を掃除することなく依然として作業を繼續することを得るものとす、内燃機關は之を雖も一般に其の成績面白からざるは蓋し歐洲の大戰勃發以來殆ど之が修繕を行へることなく然も海外より其の補充を仰ぐ事不可能なりしに依るものなる可し。

ディーゼル機關は露國に於ては其の使用せらるる事比較的僅少にして大工場は元より發電所の如きに至る迄屢々石腦油を以て汽罐の燃料となすものなり、然るに其等の汽罐にして舊式の設備を爲せるものに於ては燃料消費の割合極めて多くディーゼル機關に比するに馬力時當り五倍乃至十倍を要するものとす、要之するに露國に於けるディーゼル機關の將來は極めて

有望なるものと云ふ可きなり。

露國は土地概して平坦なるを以て水力を得る事稍困難なり、即ちラドカ海に流入せるウオルコー河の如きは水力を得るに尤も適切なるものの一なる可し、於是勞農政府亦既に同河の水力利用に着手して以て同所を距つること左程遠からざるペテルスブルグに送電せんとす、尙勞農新聞の報するところに據れば、同政府は既に瑞典ニトクウイスト・ウント・ヘルムス商會に注文して一〇、〇〇〇馬力タービン八坐並に一、四〇〇馬力タービン二坐を購入せるものなるが一九二三年四月一日以後一九二四年二月十五日に至る間に於て其の到着を見るに至るべしと云ふ、尙別にエカテリノスロー及アレキサンドロオスク兩市間に於けるドンエペールに於ては更に重要なる水力を有するものなるが同地に於ては各高數の瀑布より成る奔流數多あり、之が爲め舟行の便を缺き同地の下流にありてはアレキサンドロオスク迄溯航することを得べく、又其上流に於てはエカテリノスローを以て降航の限度となすの状態なるに、然も從來同河の水路完成に關しては僅に机上に論議せられたるに過ぎざるを以て之が貫通の曉に於ては正に一舉兩得の效果を收むるに至る可きなり、即ち最初水閘を設けて舟運の便を計り次で電力一〇〇、〇〇〇馬力以上を起して以て附近工業中心地の需要に應ぜんとするものなり。

露國に於て今日可なり重大視せらるるに至れる勞働問題は同國に於ける特種の一事項たり。即ち戰前既に比較的迅速な發展を遂げたる工業界に於ては順次同國の青年を以て之を補充する事極めて困難なりしを以て餘儀なく中老職工を採用して各船の作業に就かしめたるものなり。然して斯の如き工

場が既に長年老熟せる職工を幹部として使用せる工場に比較する時作業の失敗又は事務の澁滯等を惹起せる事一再に止らざりしは寧ろ當然の歸結を見たるものと云ふ可きなり、然りと雖も其後稍々久しうに亘りて多數の露人職工は各自其の職に習熟せるを以て其の能率の如き獨人職工に比し大なる遜色を認め得ざるに至れり。而して一九一九年露國に於ける革命終結の當時余の主管せる鑄物工場の露人鑄型工は手細工に依り鑄型を造るに一日八時間の作業に於て稍小形の二重型匡三五個乃至四五個を完成し日給として定額を支給せらるるに過ぎざりしが、斯の如きは我が獨逸に於ても殆ど其の例を見ざるところなりと云ふ可し。

露國に於ては既に大戰に先立ちて學識ある専門職工缺乏せるものありしが現在に於ては其數極めて尠く恰も曉天に星を望むが如し、抑々露國の工業界が今日に及べる凡そ五ヶ年間の不況なる時代に於て新進氣鋭の青年職工を得る事不可能なりし時偶々老熟せる在來の職工は戰爭疾病又は移住等の爲め其數益々減少せるを以て今や露國工業界は他國より専門職工を招募するに非んば其の復活全く不可能なるに至れり。

露國の住宅難は獨逸本國に於けるものの比に非ず、外人にして同國に来る者は其の餘りに意外なるに驚嘆せざるを得ず最近五ヶ年に亘りて露國の住宅は破壊せらるるのみにして建設せられたるものなし、斯の如きは同國の内亂に禍せられたにも因るものなれども、更に文武の各般に亘れる官吏が常に國民の住宅を押収せるに歸因す、而して斯の如き勞農政府に就ては官吏の數一時帝政時代に比し其の百倍に及べる事あり、然も善良なる市民を追放して奪へる住宅は官吏又は労働

者が彼等の住宅として使用せるものなるが、家財調度の如きは市民の有たらしむればその一代の使用に堪ふべきものも勞農政府に沒收せらるるに至りては僅に數ヶ月を出ずして其の用をなさざるに至れるを常とす。

現在露國都市に於て一家族の六室乃至八室を占有するが如き者なく何れも僅に一室乃至二室を有し冬期に際しては暖房用兼炊事用として小型の丸爐一個又は黒色葉鐵製火箱一個を備へて其の用を辨ずるが如き状態なり。

森林を有せざる南部地方の都市に於ては既に久しう以前に籬樹木其他を悉く燃料として使用し盡せるものなるが此等の地方に於ては冬期住民の居室内溫度著しく零度上に昇るが如きは稀とすべき有様なるを以て、インキの如きは冰結して其の用をなさず、即ち官吏は鉛筆を使用して僅に其の用を辨ずる有様なり、然りと雖も同地方の農民は從來人糞又は糞を乾燥して燃料とするものなるを以て燃料の缺乏に關しては左したる苦痛を感じざるものなり。

露國の復活に際し貨幣價値に關するの事項は特に注意すべき問題なり、露國紙幣は其の價値頗る下落し更に急激に暴落しつつあるを以て、今日に於ては殆ど通貨として其の用をなさざるに至れるものなり、今物價の標準として普通黒麵麪に就きモスコーカ標準價格を示さんに戦前に於て一封度三コペック（我が三錢）を値せるもの一九一八年一月凡そ五留（約五圓）に騰貴し一九二一年九月余のモスコーカを退去せんとせる當時凡そ二、五〇〇留に暴騰せるが一九二二年四月一日六〇、〇〇〇留に、次で同九日一一〇、〇〇〇留に狂騰せり。今更に二三の物價を掲げて其の著しき實例を示さんとす、即ち一

九二二年四月九日モスコーに於ける市價左の如し、白麵麪一
封度（以下何れも一封度）三〇〇、〇〇〇留、牛肉四九〇、〇
〇〇留、バタ八六〇、〇〇〇留、砂糖七五〇、〇〇〇留、石鹼
四五〇、〇〇〇留等の外、長靴の如き同日の市價一足實に一
八、五〇〇、〇〇〇留を值せり。

勞農政府が去秋新經濟政策として大に流動資金を増加せる
は益々急激に貨幣の價值を低落せしむるの因となせり、即ち
當時留下落の最大原因と稱すべきは銀行紙幣の濫發にして一
枚一、〇〇〇、〇〇〇留の紙幣を出すに至れり、又紙幣の量を
輕減せしむるの目的を以て近來更に新紙幣を發行するに至れ
るが其の一留は貨幣相場として從來流通せる舊貨幣の一〇、
〇〇〇留に相當するものなり。

勞農政府は其の數數百萬を以て數ふ可き不生產的官吏を整
理せんとして既に之に着手せるものなるが、之等の方面に於
て亦徹底的革新を見るに至らざれば國家の財政は茲に安定を
失ひ、新留紙幣の如きは忽にして再び暴落を見るに至るべき
なり。

以上述べ來れる處に依り露國の現状を以てしては外國の異
常なる物質的援助に依り財貨の供給を俟つに非ずんば其急速
なる復活は到底不可能なる事明かとなれり。

即ち勞農露國は其必要とせる借款數十億を以てするに非ざ
れば國力の恢復に更に拾年の歲月を要すべし、然りと雖も必
ずしも斯の如き方法に據らずとするも復興の道無きに非ず、
即ち政府が特に認可せる會社數多を建設し此等の會社をして
各自責任を以て地下並に自然界に於ける無限の寶庫を開拓せ
しむるものにして、斯の如くにして露國は全般に亘りて遂に

其國力を恢復するに至る可きものなり。

現在に於ては既に勞農政府の政治的安定に就き敢て何人と
雖も疑念を有する者なし、否寧ろ其確實なるは歐洲列國政府
を凌駕するものあるべし、然りと雖も同政府は民衆に依りて
其の實權を維持せらるるに非ずして却て一種の專制政治を行
ふものと云はざる可からず、彼の有力なるモスコーの議會に
於て其の議員と稱すべき者は實際に選出せられたるものは一
小部分に過ぎずして然も其の大部分は任命せられたる人々な
り。

労働者は未だ自ら其の代表を選出するの資格を有せずとは
共產主義者の首領が余に公然と告白せるところなり、又露國
は約五〇〇、〇〇〇人の共產主義者に依りて統治せられ、其
の殘餘の國民が政府に對して好意を有するに至らざりし事あ
り。即ち當時各地に瀕發せる暴動は此間の消息を明かに物語
れるものと云ふ可きなり。然りと雖も其後新經濟政策の行は
るゝに至り政府の與黨は俄に其の數を増し加ふるに所謂ラス
ウェルストカ（強制的に穀類を沒收する事）を廢止するに至
り、農民の暴動亦其の跡を絶つに至れり、斯の如く官民相和
するに至れるを以て彼のグヌア會議に於ける佛國の要求に對
しても上は帝政時代の前將軍より下は現代の一農夫に至る迄
一致團結して之に對抗せるが如き現象を呈するに至れり。

勞農政府は特に新聞政策の重要なるを覺り露國全土に亘り
て政府機關紙を發行し、其他の新聞は一切其の發行を禁止せ
り。又苟も勞農政府の處置に關し之を批判するものあらば全
政府は凡て之を反革命者と見做すものとす。

獨逸に對しては先に一九一七年三月勞農新聞の發行せらる

るに至りし以來常に露獨兩國は經濟上相互に扶助すべき關係にあるを以て兩國間の戰爭は此の主義に反するものなる事從て之を中止せる旨を論述せり、而して露國に於ては右の如き思想深く各人の腦裡に刻み込まれたるものなるが更に彼等は先の世界戰爭に際し聯合軍の砲身覆として使用せられたるに過ぎざりしものなるを一般に自覺するに至れり。

ミルニコーネ又はケレンスキイの如き露國を亡ぼす者は何れも殊更海外に亡命せしめたるも彼等は遂に再び露國に歸りて兵を擧ぐるの機會を永久に失へるものと云ふ可となり。我が獨逸ケーニッヒスベルグより初めて露國に飛來せる獨逸飛行家は一九二二年五月一日夕、モスコーに於て高潮せる感激を以て迎へられるものなるが、如上の一事實が將來に於ける兩大國民の經濟的提携に對する吉兆たらんことを切望するものなり。

吾獨逸國民は戰前の露國を知り又此の大國の發展可能なるを認むるものなるを以て、將來の露國勃興を確信すると共に

同國の復興は延いて我が獨逸とも幸するものなり。(以上)

鞍山鐵礦採礦總局大正十年度

事業概要

(支那鐵業時報第五十六號)

採礦作業

西鞍山採礦所 (興業費の出礦及過斤は含まず以下各礦共同

じ)

本年度總出礦量四六、七二五施〇五、製鐵所へ輸送量上礦二〇、九四五施、並礦三三一施、年度末貯礦量九八、七八二施五五(上礦四六、二七六施七五、並礦五一、五〇五施八)なりとす、各採礦の狀況次の如し。

イ、第一採礦場 第一、第二、第三、第五、切羽共掘下り

深くして作業困難なれ共礦床は變化なく年度内の出礦富

礦一一、一七〇施二五なり。

ハ、第二採礦場 壱號より十四號に至る各切羽共礦床の變化甚だしく前年度に比し出礦減少せるも第十五號礦區の出礦多量なる爲め前年に匹敵する數字を示し總出礦量一五、九五七施二を算す。

ロ、東鞍山採礦場 壱號より十號に至る切羽の内第五號は剥士の進むに従ひ益々展開し出礦増加し第拾號捨礦轉石積疊厚く出礦を増し其他切羽も礦體良好にして一九、五九七施六の總出礦を見たり。

大孤山採礦場

本年度總出礦量二〇、〇〇三施、八製鐵所へ輸送量三、一三六施五竝六八〇施、年度末貯礦量一一九、三六七施六(上礦二九、二〇五・八、竝礦九〇、一六一・八)なり。

富礦床の狀態は大體に於て變化なきも全部坑道掘に移り掘下約五〇米突(百六十五尺)に達し作業及運搬の困難なるが爲め前年度より約三割の出礦減少を來せり。

櫻桃園採礦所

本年度出礦量九三、四三五施五五、製鐵所へ輸送量五四、八一九施五、年度末貯礦量四一、九七四施八(上礦三六、八一九施八、並礦五、一五五施)